

## 平成 30 年度第 2 回横須賀市スポーツ推進審議会 会議録

- 日 時 平成 30 年(2018 年)11 月 1 日(木)15:00～15:30
- 会 場 横須賀市市民防災センター(あんしんかん)3階 第2・3会議室
- 出席委員 横須賀市スポーツ推進審議会委員(敬称略 50 音順)  
磯部忠、上杉孝之、加藤努、工藤幸久、東海林義勝、  
鈴木志保子、鈴木英雄、鈴木満、滝瀬絹子、田中利一
- 事務局 文化スポーツ観光部 上条浩部長  
スポーツ振興課 高橋哲也課長、柴崎正係長、蛭田茂穂係長、  
松浦政行主査、岩崎翔平(記録者)  
保健体育課 鎌原徳宗課長、志村康浩係長
- 議事内容 開会  
1 横須賀市あいさつ  
2 議 題  
(1)平成 30 年度社会体育・学校体育関係事業概要及び進捗状況について  
(2)横須賀市スポーツ推進計画について  
(3)その他  
・横須賀市のスポーツニュースについて  
3 意見交換
- 資 料 1 横須賀市スポーツ推進審議会委員名簿  
2 平成 30 年度スポーツ関係事業進捗状況  
3 横須賀市のスポーツニュース  
4 横須賀市スポーツ推進計画

### ● 開会

事務局(松浦主査)が、平成 30 年度第2回横須賀市スポーツ推進審議会の開会を告げた。

#### 1 横須賀市あいさつ

上条文化スポーツ観光部長が挨拶を行った。

### ● 定足数の確認

14 名の委員のうち 10 名の委員が出席しており、スポーツ推進審議会条例第4条に基づく半数を超えていることから、会議は成立となった。

### ● 傍聴者の確認

傍聴を希望される方はいなかった。

## 2 議題

### (1) 平成 30 年度社会体育・学校体育関係事業概要及び進捗状況について

#### ● 概要説明

事務局(松浦主査)が資料2～5ページをもとに説明した。

#### 【要旨】

今年度は会場を変更している行事もあるが、順調に実施することが出来ている。本審議会までの行事の様子等を写真を含めて報告した。

#### ● 審議・意見交換

##### □ 委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

⇒発言なし

### (2) 横須賀市スポーツ推進計画について

#### ● 概要説明

事務局(松浦主査)が資料[横須賀市スポーツ推進計画]をもとに説明した。

#### 【要旨】

平成 30 年度より横須賀市スポーツ推進計画に基づいてスポーツの取り組みを進めている。同計画を実効あるものとするために、目標指標を立て、点検・評価による進行管理を行い、毎年、市議会や審議会に報告するとともに、市民に公表し、集約された意見は計画の進行や見直しなどに活かしていく。平成 30 年度の結果については、平成 31 年(2019 年)に報告する。

#### ● 審議・意見交換

##### □ 委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

平成 31 年度に目標指標及び進捗管理の集約がされ、報告があるとのこと。

##### □ 委員

指標の中の数値を細かく分類するという考えはありますか。国際大会や国内大会の中でも年齢層が小学生の大会や中学生の大会などがあり、類別に分けたほうが実態を把握するためには良いと思いますが、どのような考えをお持ちでしょうか。

##### □ 事務局

実態を把握するためには必要だと思いますので、指標の表し方は事務局で検討してあらためて提示させていただきます。

### (3) その他・横須賀市のスポーツニュースについて

#### ● 概要説明

事務局(岩崎担当)が資料6～8ページをもとに説明した。

#### 【要旨】

横須賀市出身選手の活躍や市内開催のスポーツイベント等を報告した。

#### ● 審議・意見交換

##### □ 委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

⇒発言なし

### 3 意見交換

□ 委員長

意見交換に入ります。質問や各団体の行事の告知でも構いませんし、情報交換の場として委員の皆様にご意見を頂ければと思います。どなたかご発言はありますか。

□ 委員長

大規模大会として記載されている「関東ゴールデンシニアバスケットボール大会」に私のチームも出場を予定しています。60歳以上の大会で観客がどのくらい来るかはわかりませんが選手は100名程度参加を予定しています。昨年からスポーツ振興課に相談しているのと協力していただいています。文化スポーツ観光部という編成が替わり、現場の相談をしたときの動きが早く、協力体制が感じられてとてもありがたいです。友好的に良い試合ができればいいなと考えています。

□ 事務局

スポーツで横須賀を盛り上げていきたい。という市長の考えに職員も共感していて、大きな大会を横須賀で開催できるよう動いております。その中で市内に宿泊施設が少ないということが言われています。現在、市の土地である三笠公園の駐車場にホテルの公募をしています。宿泊施設ができれば市内に泊まらせていただいて、そのまま横須賀を楽しんでいただくという流れができます。完成は2020年後半頃かと思いますが、ホテルの需要は増えているので、既存の事業者のみなさんと共存しながらやっていけるものと思っています。

□ 委員

久里浜のフェリー乗り場周辺に温泉施設が出来ましたが、同じように土地の提供とホテルの公募ができるのであれば、その周辺に宿泊施設があるとよいと感じます。くりはま花の国にはボルダリング施設が出来ましたが、動き作りという観点からもボルダリングは子供たちがスポーツに親しむきっかけになりますし、その他にも公園内に様々な遊具を点在させてタイムを競いながらゲーム感覚で楽しく一周回れるようにすれば、長井ソレイユの丘のように家族連れで一日楽しめる施設になり、他地域の訪問者が増えてくるのではないかと思います。

ヨーロッパや南米などでは導入されていますが、宿泊をした際に税を徴収するところがあります。横須賀市でも特別地方税として徴収して、その税金を市内で行われる大会に助成金を出すなどして、還流サイクルを作り上げるというのも一つの方法だと思います。ご検討いただければと思います。

□ 事務局

いくつか検討できる部分と難しいものもあります。宿泊施設は行政が経営するものではなく民間企業が経営されるものですので、需要がどれ位あるのかは当然必要だと思います。行政が大規模な遊興施設を作ってそこに呼ぶというのも、維持やランニングコストの関係も重要なことですし、少子高齢化の中で税の使い道としてなかなか難しいことです。民間企業と協力するなどいろいろな可能性は追及していきたいと考えてはいますがなかなか難しいことだと思います。お金の還元については、需要が増えて税金を納めてでもお客さんが来てくれるような場所になれば、そのようなスキームを取り入れていくことができるかもしれません。いますぐには難しいですが横須賀がその立ち位置になれるよう努力し研究していきたいと思っています。

⇒その他に発言無し。

- 以上で、審議が終了し議長降壇の後閉会した。